



CONTENTS

Welcome to Yamanashi	
海外技術研修生、留学生、派遣職員等の紹介	2
やった！世界一周の坂本達さんがやってきた！	
「Festa Junina」イベント報告	3
多文化共生の現場から「山梨青年海外協力隊協会事務局長 松本公夫さん」／JICA 通信	4
Brazil Week in Yamanashi-o passado e o presente dos laços nipo-brasileiros	5
A comunidade brasileira no Japão: de decasségui a emigrante	6
BRAZIL WEEK in Yamanashi	7
YIA info 「ブラジル・ウィーク in 山梨」	8
Cooking @ Home ブラジル料理「ボン・デ・ケイジョ」	
Information	9
YIA Event Calendar	10

1908年6月18日、サントス港で笠戸丸（かさとまる）から下船した791人（158家族）によって、日本人のブラジル移民の歴史がはじまりました。

来年2008年は、「移民100周年」。それに先駆けて、国際交流センターでは、9/4～9まで、「ブラジル・ウィーク」を開催します。
※写真 第二次世界大戦後、サンパウロ近郊スザノの町で開校した日本語学校の前で。

A história dos laços nipo-brasileiros tem início com a chegada dos primeiros emigrantes no porto de Santos no dia 18 de junho de 1908.

Em celebração do Centenário da Imigração japonesa no Brasil, a Associação Internacional de Yamanashi aproveita a ocasião para levar ao público japonês um pouco da nossa história e da nossa cultura.

Foto: Inauguração da escola japonesa na cidade de Suzano, em São Paulo no período pós-guerra.

The Kasato Maru took 791 people from Kobe to Santos harbour, Brazil on the 18th of June, 1908. That was the beginning of the history of Japanese emigration to Brazil. Next year is the Centenary of "Japanese Emigration to Brazil" and the Yamanashi International Association is celebrating it this year by having the "Brazil Week in Yamanashi" from 4th~9th of September.

The photo was taken post-war at an opening ceremony of the Japanese school, which was located in the town of Suzano, 40 km away from the city of São Paulo.

Welcome To Yamanashi!

やまなしへようこそ!

今年も県海外技術研修員(5名)、派遣職員(2名)、留学生(2名)、自治体協力交流研修員(1名)が中国、韓国、ブラジル、パラグアイ、ペルーからやってきました。6月から来年の春まで、県国際交流センターに滞在しています。さまざまなイベントを通して皆さんと会えることを楽しみにしています。

- (1.国籍 2.研修(研究)内容 3.主たる研修(研究)機関 4.趣味等 5.ひとこと

This year the International Association is happy to welcome 5 Technical Trainees, 2 Exchange Students, 2 Overseas Civil Servants and 1 Cooperative Exchange Trainee from China, Korea, Brazil, Paraguay, Peru and America. They are here from June until Spring next year and are staying at the International Centre. We hope you will be able to meet the trainees through many events happening at the International Centre in the future. (1.Nationality 2.Field/Specialisation 3.Workplace 4.Hobbies, interests 5.Expectations)

県海外技術研修員

OVERSEAS TECHNICAL TRAINEES

山梨県の姉妹友好地域等から来日し、日本の技術や技能を習得するため、県の機関や民間企業等で研修を受けている技術研修員。

Overseas technical trainees come from Yamanashi's Sister/Friendship-Territories and undertake traineeships at Prefectural Facilities and private business to acquire Japanese skills and expertise.



尹 小霞 (イン ショウカ)
Yin Xiaoxia

1. 中国 (China)
2. 看護マネージメント (Nursing management)
3. 社会保険 山梨病院 (Yamanashi Hospital of Social Insurance)
4. マンガ、音楽 (Cartoon, music)

5. いろんな所へ行きたい! I want to go to many places!



橋田ディアナ
Kitta Diana

1. ペルー (Peru)
2. 観光ビジネス (Tourism)
3. 富士急トラベル(株) (Fujikyū Travel)
4. バレーボール、料理 (Volleyball, cooking)
5. 日本の文化を学びたい。

I want to learn Japanese culture.



望月 美恵
Mochizuki Mie

1. パラグアイ (Paraguay)
2. 理学療法 (Physiotherapy)
3. 医療法人財団 加納岩山梨リハビリテーション病院 (Kano-riwa-Yamanashi Rehabilitation Hospital)
4. カラオケ、旅行 (Karaoke, travel)
5. いろんな国の友だちを作りたい。 I want to make a lot of friends from all over the world.

I want to make a lot of friends from all over the world.



前野 ケビン 美知昭
Maeno Kevin Mitiaki

1. ブラジル (Brazil)
2. 総合小売店におけるマーケティングと宣伝 (Marketing and advertisement in general merchandise store)
3. (株)山交百貨店 (Yamakō Department Store)

4. ブレイク・ダンス、ストリート・ダンス、ギター (Breakdance, street dance, playing the guitar)

5. 友だちをいっぱい作りたい!

I want to make a lot of friends.



グスタヴォ・デ・アウメイダ・マシャド
Gustavo de Almeida Machado

1. ブラジル (Brazil)
2. 建築と都市計画等 (Architecture and city planning)
3. (株)進藤設計事務所 (Shindo Architect office)

4. 合気道、カポエイラ、写真を撮ること (Aikido, Capoeira, Photography)

5. 日本の普通の生活を見たい、知りたい。
I want to see and know about ordinary Japanese life.

派遣職員

OVERSEAS CIVIL SERVANTS

山梨県の姉妹都市である忠清北道及び、友好都市である四川省と職員相互派遣を行っている職員。

Overseas civil servants participate in a mutual exchange program between Yamanashi and the Sister-state of Chung Buk-Do, Korea and Friendship-State of Sichuan Province, China.



崔 瑛旻 (チェ ヨンミン)
Che Yong Min

1. 韓国 (Korea)
2. 日本の地方行政の研究 (Research on regional government in Japan)
3. 県庁 国際課 (Yamanashi Prefectural Government International Division)

4. ボーリング、ピアノ (Bowling, playing the piano)

5. 日本の祭りなど伝統文化に触れたい。
I want to learn about traditional Japanese culture like festivals.



李 莎 (リ サ)
Li Sha

1. 中国 (China)
2. 日本の地方行政の研究 (Research on regional government in Japan)
3. 県庁 国際課 (Yamanashi Prefectural Office International Division)

4. 卓球、バスケットボール、カラオケ (Table tennis, basketball, karaoke)

5. 日本の文化を知りたい。友だちもたくさん作りたい。

I want to learn about Japanese culture and I want to make lots of friends as well.

県費留学生

EXCHANGE STUDENTS

山梨県の姉妹友好地域である韓国忠清北道及び米国アイオワ州から受け入れている留学生。

Foreign-exchange students come from Yamanashi's Sister/Friendship Territories of Chung Cheong Buk-Do, Korea, and Iowa State, America.



宣 軫午 (ソン ジノ)
Sun Jino

1. 韓国 (Korea)
2. 日本人と武士道 (Japanese and Bushido)
3. 山梨県立大学 (Yamanashi Prefectural University)
4. おしゃべり、スポーツ (Chatting, Sports)

5. 日本の伝統・文化を紹介した日本映画を見たい。 I want to watch many movies which introduce Japanese traditions and culture.



ジェイコブ・ジムニー
Jacob Zimny

1. アメリカ (America)
2. 現代日本文化研究 (Research on modern Japanese culture)
3. 山梨県立大学 (Yamanashi Prefectural University)

4. コンピューター・ゲーム、音楽 (Computer games, music)

5. 日本語の上達!

I want to improve my Japanese skills.

自治体協力交流研修員

COOPERATIVE EXCHANGE TRAINEES

山梨県の姉妹友好地域にある自治体から来日し、本県の技術や技能を習得するため県の機関で研修を受けている海外自治体職員。

The cooperative exchange trainee comes from a local government in one of Yamanashi's Sister/Friendship Territories in order to undertake a traineeship in a Prefectural Facility and acquire Japanese skills and expertise.



曹 倩 (ソウ ケイ)
Cao Qian

1. 中国 (China)
2. 観光管理 (Tourism administration)
3. 県庁 観光振興課 (Yamanashi Prefectural Office International Tourism Division)

4. テニス、映画鑑賞、音楽を聴くこと (Tennis, listening to music, watching movies)

5. 日本語の上達、そして日本文化を学びたい。
I want to improve my Japanese and I want to learn more about Japanese culture.



DreamComeTrue

やった！世界一周の坂本達さんがやってきた！

「相手の大切なものを大切にしたら自分も大切にされた」

異文化を知る上で大切なこと。そして、それは異文化に限らず日々の生活においても言えること。

6月9日（土）、10日（日）4年3ヶ月の有給休暇を取って自転車で世界一周をなし遂げた坂本達さんをゲストに迎え講演会＆サイクリングを開催しました。

「相手の大切なものを大切にしたら自分も大切にされた。」

達さんのお話、スライド写真はどれも目、耳、心を奪われるものばかり。途中で混ぜ込まれたギャグにお腹を抱えて笑い、達さんの素晴らしい写真（スライド）と初コラボとなる亀工房さん（ギターとハンマー・ダルシマーのデュオ・バンド）の音楽に、心も体も癒されていきました。

やんわりと人情味溢れる雰囲気の達さんから発せられる、強く夢に溢れたメッセージ。マラリアと赤痢にかかり、命を落としそうになったギニアでの出来事。命の恩人へ恩返しのため始めた井戸掘りプロジェクト。与えるだけでなく、現地の方々が自ら運営、管理していかねばならない、と達さんは熱く語ります。井戸掘りが成功した現在は、次の「夢」である診療所改修のためのプロジェクトが進行中です。

世界一周は成し遂げて終わりではありません。達さんの「夢」は継続中です。そんな達さんのお話は参加者の心にグサリと突き刺さり、みな何かしら得て帰っていくのが参加者の目を見てわかりました。

10日に行われた釜無川サイクリングは雨にもかかわらず、スタッフの予想をはるかに上回る参加者が信玄堤に集合。「no rain no rainbow」という達さんのお話、「確かに、ものはとらえようだなあ。」と感心する参加者。雷も鳴るほどの豪雨の中、「達さんと一緒に走りきる」という「夢」のため、子供も大人もみな、リタイアすることなく走りきりました。ゴールした後みんなで食べたおにぎり、とん汁の味は格別でした。

「あいさつすること。感謝すること。個性を大事にすること」

達さんのメッセージは、一見とてもシンプルで簡単なことのように思えますが、実は日々の生活でおろそかになってしまっていて、もっとも大切にしなければならない、基本的な心がけばかりです。

「あいさつすること。感謝すること。個性を大事にすること。」

日々の生活の中で、「私は、僕は、できていたかな？」と思いつ返し、「み



んな違ってあたりまえ。違いを認め、尊重しながら自分の個性を大切にしていく。外を見ることで自らを見つめ直す。」そんな素敵なアドバイスをたくさん頂きました。きっと、みなさんの心に深く刻み込まれたことと思います。

「やった」「ほった」「たった」

世界一周を成し遂げて発行された「やった」

井戸掘りプロジェクトを完成させて発行された「ほった」

現在進行中の診療所が建ったら「たった」が発行される予定。

この3作で「夢の3部作」は完結するそうです。

これからも「夢」に向かって走り続ける達さん。そんな達さんと共に、参加して下さった方々もみな、「夢」を持って走り続けてくれることと思います。（文：村松智子）

坂本達さんプロフィール

1968年生まれ。7歳から11歳まで父親の仕事の関係でパリに暮らし、そこで見たツール・ド・フランスに魅せられ、以来自転車の虜に。1992年早稲田大学卒業。同年、株式会社ミキハウスに入社。商品部、人事教育係を経て、1995年9月26日～1999年12月28日までの4年3ヶ月間、有給休暇扱いで自転車「世界一周」の旅へ。「夢の架け橋プロジェクト」「JICAピース・トーク・マラソン」「内閣府主催東南アジア青年の船ナショナルリーダー」に参加。現在は人事として勤務のかたわら、全国の学校や団体に講演活動을続ける中、著書「やった」の印税により、走行中お世話になったアフリカの村などで井戸の建設、診療所の改修などを実行中。



「フェスタ・ジュニナ」

Festa Junina

「Festa Junina」は、「共に生きる」きっかけ作り

6月24日（日）、あいにくの雨空にも関わらず、南アルプス市の甲西農村環境改善センターで開催された「フェスタ・ジュニナ」には、のべ1,000人を超える人々が参加しました。

「フェスタ・ジュニナ」は、「6月祭」という意味。ダンスを踊ったり、ゲームを楽しみながら収穫を祝うお祭りです。

県内には、約6,000人のブラジル人が暮らしています。ブラジル人、日本人が互いに理解を深めようと開催したイベント「フェスタ・ジュニナ」は、この地域に伝わる伝統芸能の小笠原長清太鼓や荊沢囃子をはじめ、ブラジル人学校「ピタゴラスやまなし・ブラジル校」の

児童・生徒たちによるブラジルの伝統舞踊「クアドリリャダンス」などが披露され、手拍子や歓声が起こるなど、楽しい時間を過ごしました。

また、屋外のテントブースでは、ブラジル風串焼き

シュハスコ、パステウ、グアラナ、日本の焼きそば等販売コーナーなどが設けられ、多くの人々がおいしい料理に舌鼓を打っていました。





1969～1975年(6年間)青年海外協力隊員(建設機械及び自動車整備指導)としてケニアに派遣滞在していた松本さん。30年以上の月日が流れた今も変わらずアクティブに活動を続けています。体験談を踏まえ、松本流コミュニケーション術をお聞きしました。

ことばの壁

青年海外協力隊員時代の2年間、エチオピア、ソマリア国境(砂漠地帯)で、道路建設に必要な自動車・建設機械の修理をするプロジェクトに参加。イタリア、ノルウェー、スウェーデン、アメリカ、インド人のエンジニアとケニアの建設省・労働省の従業員関係者約500名、私の担当する研修生約100名で、炎天下、屋根つき工場で指導しました。

現地が一番苦しかったことは、立ちほだかる「ことばの壁」。それは、文化の違いで悩む以前の問題でした。コミュニケーションの取れないことの辛さ、苦しさを痛切に思い知らされました。体験から得た解決策は、

- 1) よく聞く
- 2) 手のひらに書く。
- 3) 真似をする。
- 4) 恥はかき捨て。

新たな内なる「壁」との闘い

ことばを少しずつ覚え、文法にも慣れてくると、間違っただけかという思いから、新たに羞恥心、恐怖心が生まれてきました。

日本で得た「常識」を取り払い、リセットして「現地化」する。これを体得し、新たな「壁」を乗り越えるのに1年半ほどかかりました。多岐にわたりオープンでいられる今の自分はこの頃養われたように思います。

体験から得た共生の素晴らしさ

国境プロジェクトが終了し、インド洋の職業訓練学校(モンバサ校)へ転勤後は、自動車整備(午前)とバレーボール(午後/男子)の指導に力を入れました。学校側の要請により、協力隊任期通常2年が、トータルで6年にもなっていました。素朴で屈託のないケニアの若者たち。リセットして「現地化」したからこそ、彼らと充実した時間を過ごすことができました。あっという間の6年間でした。

「意識すること」の大切さ

今もスワヒリ語には不自由しません。県内に住むアフリカ人たちと食事したり、お茶を飲んだりしながら積極的にコミュニケーションを図っています。週に2回、YMCAのボランティアをしながら、合間を縫っての英語レッスンも大切な時間。「意識すること」はとても大切なことだと思います。

海外体験を活かし、現在、山梨在住の外国人、海外技術研修生、留学生他、YMCA、JICA研修生たちに日本の文化、習慣等を紹介している松本さん。肩肘張らずに、自然体で輪の中にとけ込んでいる姿がありました。

外国人から、「松本さんの日本語は、よくわかります。」と言われるそう。ケニアで、言葉の壁に苦しんだ体験から、自ずとシンプルに、ていねいに、ゆっくりとことばを伝えようとする気持ちが表れてくるのでしょうか。照れ笑いをしながら、今日もさまざまなつながりで得た200人を超えるメル友にイベント情報を発信する松本さんなのでした。

(次号では、松本さんより、NGO、国際交流・国際協力団体の皆さんへお役立ち情報をお届けします。お楽しみに。)



山梨から世界へ・・・



65日間の訓練を終え、6月の終わりに3名の方々が青年海外協力隊として山梨からそれぞれの任地へ飛び立ちました。中東ヨルダン、中央アジアに位置するキルギス共和国、そして、アフリカのセネガルで2年間現地の人々と一緒に生活し、活動します。

現地でのレポートなどお楽しみに♪

写真左から(名前、赴任国、職種)

- 天野 裕美さん (ヨルダン 青少年活動)
- 伊藤 理絵さん (キルギス 義護)
- 横内 正明知事
- 鈴木 崇浩さん (セネガル 果樹)

エッセイコンテスト 2007

中学生、高校生を対象に、9月12日(水) <当日消印有効>まで、エッセイを募集しています。

テーマ「世界のみんが幸せになるために～私ができること、考えること～」

詳しい募集要項は、こちらをご覧ください。↓

<http://www.jica.go.jp/hiroba/join/sanka/essay/index.html>

応募先 〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24

(社)青年海外協力協会内

「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2007」係

☎03-3406-5274 (直通)

JICA 山梨デスク 松岡

〒400-0035 山梨県甲府市飯田二丁目2-3 (財)山梨県国際交流協会

Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



お客様の“満足”が、
アド井上の主力商品です。

アド井上はヴァンフォーレ甲府を応援します!



印刷全般 ホームページ作製 データ作製・管理
その他、“困ったこと”のお手伝い

株式会社 アド井上

〒409-3845 山梨県中央市流通団地3-4-5

TEL055-273-6141・FAX055-273-6144

URL <http://www.mdf.co.jp/inoue>

BRAZIL WEEK in Yamanashi

BRAZIL WEEK

Next year is the Centenary of Japanese Emigration in Brazil and the Yamanashi International Association is inviting you to its preview. There will be short-film sessions, photo exhibitions, workshops and many other exciting activities during the whole week. The purpose of having the Brazil Week is to establish the history of Japanese immigration in Brazil and introduce its culture to everyone in the prefecture.

The Nipo-Brazilian Relationship

The first group of Japanese to arrive in Brazil was back in 1908. *Kasato Maru* took 791 contractors who were in search of better life conditions in Brazil since Japan was suffering the effects of Meiji Reform. In the beginning, they worked together with the European and Chinese immigrants on coffee farms as the Brazilian government required labour force for the booming market. Later, when their contracts finished or even before, due to the harsh working conditions some of them moved on to other areas in Brazil and started their own farm, growing rice, cotton, tea among others. Most Japanese emigrants went to Brazil in family or as adopted children to form groups. As time passed by, Japanese schools were built and its language and culture were taught to their children.

The relationship between Brazil and Japan fell apart during the World War II. Japanese schools were prohibited as well as the usage of Japanese language; publications in Japanese, German and Italian were ceased as they were allies. When people learnt that Japan had lost the war, many decided to settle down in Brazil, in addition, the steady influx of Japanese postwar had also enlarged the Japanese community. Today, Brazil has the largest community of Japanese and their descendants outside Japan.

The Reverse Immigration

During the 1980s, driven by the improved economic situation in Japan and the collapse of Brazilian economy, many Japanese-Brazilians (*nissei*-second generation and *sanssei*-third generation, including the mixed descendants) came to Japan as contract workers in Japanese electronics and car industries. In response to the demand, the Japanese government approved an immigration law providing special working visas to Japanese descendants. Most of them would come and determine to stay just long enough to make an adequate amount of money to take back to

Brazil. However, many had put down roots in Japan and they are now becoming permanent residents in the country, representing the third largest foreign community in Japan.

Brazil in Yamanashi

According to official data, out of 320,000 Brazilians in Japan, there are over 6,000 living in Yamanashi, the largest foreign community here. If you have missed out on our “Festa Junina” in June, which attracted over 1,000 people from all over the country, you should come and participate in “Brazil Week in Yamanashi” at the International Centre.

~Come along and divirta-se~

Information

Time: 4th-9th of September.

Location: Yamanashi International Centre

Entry Fee: free

Schedule:

4-7th of September:

Every night, there will be performances of Brazilian music (Bossa Nova, samba, pagode); traditional Brazilian cuisine prepared by Yamanashi restaurant owners; various documentaries and films showing the history of Japanese emigration to Brazil. Besides, the photo exhibition features of Irene Herrera, who is a famous young photographer from Venezuela.

8th & 9th of September:

Workshop: *The real Japanese people I met in Brazil.* Renowned essay writer Kosaburo Arashiyama

“Haru to Natsu” - will be shown by the courtesy of NHK with subtitles in Portuguese. This story tells the affection between elder and younger sisters who meet each other again after living separated in Japan and Brazil for 70 years.

Brazilian *capoeira* and percussion demonstration.

Brazilian cuisine.

Panel discussion: *The role of each party in in the growth of Brazilian communities in Japan.* Vice-consul João Pedro Costa (General-Consulate of Brazil in Tokyo); Toshio Shibasaki (Senior philanthropy consultant of Mitsui Bussan); Professor Yoshiko Ando and Professor Hitoshi Yoshida (Yamanashi Prefectural University).



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

甲 府 支 店

国土交通大臣登録旅行業第20号 / (社) 日本旅行業協会会員

〒400-0031 甲府市丸の内2-1-1

TEL 055 (228) 7311 FAX 055-222-8600

営業時間 月～金 09:15～17:30

休業日 土曜・日曜・祝日・年末年始

BRAZIL WEEK in Yamanashi ブラジル・ウィーク in 山梨

2008年、「ブラジルへの日本移民100周年」

1908年6月18日、日本人781人を乗せた笠戸丸（かさとまる）が、サントス港に入港しました。タラップを降りる日本人たちは、皆、正装し、これからの希望に満ちた輝く未来を夢見ていました。そこで待っていたのは、劣悪な環境、差別、偏見、そして過酷な労働でした。そういった状況に耐えながら、日本人としてのアイデンティティを必死に守ろうとたくましく生きていた移民たち。こうして日本人のブラジル移民の長い歴史がはじまりました。

ブラジルの歴史、文化を感じる1週間

来年2008年は、「移民100周年」。それに先駆けて、国際交流センターでは、9/4（火）～9（日）まで、「ブラジル・ウィーク in 山梨」を開催します。

9/4（火）～7（金） 午後6時～午後8時

9/4（火）

- 教科書にない話①「日本とブラジルの交流を語る」
- ボサ・ナイト（ピアノ）演奏
- 写真展示 ■ブラジル料理ディナー

9/5（水）

- マクレレ・ワークショップ<要申込>
- カポエイラ・ワークショップ
- 写真展示 ■ブラジル料理ディナー

9/6（木）

- ドキュメンタリー「ハルとナツ、届かなかった手紙」（ポルトガル語字幕付）<要申込>
- ボサ・ナイト（ピアノ）演奏
- 写真展示 ■ブラジル料理ディナー

9/7（金）

- 教科書にない話②「逆移民とは？」
- ボサ・ナイト（ギター）演奏
- 写真展示 ■ブラジル料理ディナー

9/8（土）午前10時～午後4時30分

- パネルディスカッション「在日ブラジル人の現状と課題」
- ダンス・パフォーマンス（ピタゴラス）
- 移民の歴史を描いた紙芝居とカルタ取り（子ども対象）
- 国際理解講演会「ブラジルに行った話」作家/エッセイスト 嵐山光三郎氏
- サンバとブラジル・パーカッション
- 写真展示
- ブラジル料理

9/9（日）正午～午後4時30分

- 講演会「日本のブラジル コミュニティ出稼ぎから永住者へ」在日ブラジル代理総領事 ジョアン・ペドロ・コスタ氏
- ダンス・パフォーマンス（ピタゴラス）
- 移民の歴史を描いた紙芝居とカルタ取り（子ども対象）
- 写真展示 ■ブラジル料理
- グループ「ジレーマ」によるサンバとパゴデ

※ブラジル料理は有料となります。

主催/問合せ
（財）山梨県国際交流協会
Tel. 055-228-5419 Fax.055-228-5473
www.yia.or.jp webmaster@yia.or.jp



熊本県からブラジルへ移住した志垣ファミリー。国際交流員として国際交流協会に勤務する田中エリカさんの祖父、祖母、そして一番右が祖母のハジメおばあちゃん。93歳になった今もブラジルで元気に暮らしています。

クッキング@ホーム



平成19年度 県海外技術研修員（ブラジル）
グスタヴォ・デ・アウメイダ・マシャドさん

ボン・デ・ケイジョ （ブラジルのチーズパン）

材 料（約30個分）

- ボン・デ・ケイジョ・ミックス・・・250g
- 卵・・・・・・・・・・・・・・・・・・2個
- 冷水・・・・・・・・・・・・・・・・170cc
- バター・・・・・・・・・・・・・・・・少々
- ※お好みで、ハム、チーズなど



「ボン・デ・ケイジョ」は、ブラジル生まれのチーズパン。回りはカリッ、中はモチモチです。ブラジルでは、コーヒーと一緒に朝ごはん、午後のおやつとして食べられています。生ハム、ベーコン、チーズなどはさんで食べてもおいしいですよ。生地から手作りしている家庭も多く、それぞれ家庭の味を大切にしています。

最近では、日本のコンビニでも見かけるようになった「ボン・デ・ケイジョ」。ブラジル食料品店だけでなく、日本のスーパーでもミックスが購入できるようになりました。

作り方

- オープンを180℃で予熱しておく。
- ボールに卵2個を入れ混ぜ合わせておく。冷水を注ぎ、ボン・デ・ケイジョ・ミックスを入れ、しっとりするまで10分ほど混ぜる。
- 手の平にバターをぬり、混ぜ合わせたミックスをスプーンで取り、小さなお団子に丸める。
- 天板に並べ、中段で180℃ 25分程度焼く。
表面がこんがり、焼き色がついたらできあがり！

御見積依頼大歓迎！！

当社の見積を見れば絶対納得できます！
まずは、お電話か、FAXで見積依頼を！

業務内容

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カード・DM
各種伝票・パンフレット・ポスター・各種冊子類 etc……

印刷に関することなら

有限会社 西山総合印刷所

〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町165-8

TEL 055-241-4112

FAX 055-241-4112

第16回開発教育全国集会 in 山梨

世界へ、未来へ、つながる甲斐 国際協力への第一歩！！

国際協力、青年海外協力隊に関する分科会の他、ワークショップ「100人で体験しよう地球村」、山梨日立建機 雨宮社長による講演会「地雷除去」等開催します。2日目は、オプションツアー（清里コース、風林火山コース）もあり。

日時：8月18日（土）、19日（日）

場所：KKR 甲府ニュー芙蓉

参加費：無料（資料報告書等郵送料500円）* オプションツアーは別途参加費

主催/問合せ

山梨青年海外協力隊を育てる会事務局 <http://www.sojocv.or.jp>

担当 高野 office@jaa-net.gr.jp Tel. 0551-28-1292（平日5時まで）

「富士登山マナーガイドブック」をご利用ください！

GUIDEBOOK OF MT.FUJI CLIMBING MANNER

富士登山の季節到来！県観光部より、英語、韓国語、中国語表記の「富士登山マナーガイドブック」が届きました。富士登山を計画している外国の皆さんにぜひ紹介ください。その他、英語表記の「Mt.Fuji Climbing Guide Map」（富士吉田市発行）も合わせてご利用ください。

"It's time to challenge the Mt Fuji!"

The Yamanashi Prefecture Tourism Department has issued a 『Guide Book of Mt Fuji Climbing Manner』 in English, Korean and Chinese. For any interested climber, please feel free to take one home.

In addition, Fujiyoshida city also issued a 『Mt Fuji Climbing Guide Map』 in English. Please utilise these pamphlets as they provide a detailed guideline for you to reach the top safely.

問合せ / Contact

（財）山梨県国際交流協会 Yamanashi International Association
Tel. 055-228-5419 webmaster@yia.or.jp

YIA メール会員募集！

（財）山梨県国際交流協会では、メール会員を募集しています。最新イベントや耳より情報など、随時配信していきます。

ご希望の方は、件名に「メール会員登録希望」と明記し、氏名（またはニックネーム）を記載し、下記宛てに送信してください。

（財）山梨県国際交流協会 webmaster@yia.or.jp



フレンチ・ロック

"SemtaZone (ゼムタゾン)" がやってくる！

山梨県と姉妹州を結んでいるフランス ソーヌ・エ・ロアール県のシャルネ・レ・マコン市から、フレンチ・ロックグループがやってきます。モダンテイストと古き良きフランスの香りをブレンドしたサウンド。必聴必見です！

日程 10月6日（土）ライブハウス「伊那グラム・ハウス」
（長野県伊那市）

7日（日）「甲斐市のフェスティバル」

8日（月）ジャズクラブ「アローン」（甲府市）

9日（火）「440」（東京下北沢）

11日（木）「440」（東京下北沢）

※ただ今、ボランティア・スタッフ募集中！

主催/問合せ

「シャルネ・レ・マコンを愛する市民の会」 赤松 輝美
aka12olive@ybb.ne.jp Tel. 0553-33-3045

ハイチ友の会 「紙芝居コンテスト2007」作品募集！

■テーマ 開発途上国の子供たちが楽しみながら、保健・衛生・環境保護などを学べるような物語を10～12枚程度の紙芝居で表現してください。A3～八つ切り画用紙。画材は問わず。言語は日本語。

■募集期間 2007年9月10日～9月30日（当日消印有効）

最優秀賞 100,000円 1名（もしくは1グループ）

優秀賞 30,000円 3名（もしくは3グループ）

特別賞 10,000円 1名（もしくは1グループ）

■応募方法 応募作品・住所・氏名・年齢・電話番号・学校または職業を記載の上、ご送付ください。1名（1グループ）の応募につき2作品まで。

■応募資格 ブロ・アマの別や年齢不問、グループでの応募も可。

申込み/連絡先

ハイチ友の会事務局 Tel./Fax 055-237-5126

〒400-0812 甲府市和戸町928-2

friendsofhaiti@mindspring.com

<http://friendofhaiti.home.mindspring.com/>

国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。

会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

会員登録をありがとうございました！

個人会員（入会順・敬称略）

5月 北村絹恵 福島牧子 丹澤 博 佐藤光政 天野とき 名取三枝子
市川友彦 田辺 均 後屋敷祐子 橋本真樹 山村武敏 岡部由美
齊藤ひとみ

6月 望月喜彦 志村英一 野村領子 中村泰久 曲淵由美子 前田博子
田中尚典 山本 司 實川智子 石田聡子 大原美儀 沢村弓子 山田邦夫
雨宮律子

団体会員（入会順・敬称略）

5月 南アルプス市 甲府市 甲州市 都留市 富士吉田市 韮崎市 山梨県日中
平和友好会事務局 増穂町国債交流協会（社）山梨県看護協会 山梨県林
業団体協議会（財）キープ協会 山梨学院大学 山梨県ボランティア協会
天理教山梨地区

6月 国際ソロプチミスト山梨 市川三郷町 鯉沢町 富士河口湖町 昭和町 南
部町 身延町 西桂町 早川町 増穂町 忍野村 小菅村 丹波山村 道志
村 鳴沢村 山中湖村

YIA Event Calendar

8月

「青少年国際協力スタディ・ツアー」

中学生、高校生、大学生を対象としたタイ・スタディ・ツアー。
現地の学生や山岳民族の人々との交流、青年海外協力隊の活動体験など、「見て、聞いて、体感する」ツアーです。* 募集は既に終了しています。
とき 8月13日(月)～19日(6泊7日)
渡航先 タイランド
対象 県内中学生、高校生、大学生

国際サロン「インターナショナル・フレンドシップ・デー」

世界のさまざまなゲームや歌を通して、いろんな国の人たちと出会い、一緒に異文化を体験してみませんか。
とき 8月25日(土) 午後1時半～3時30分
ところ 県立国際交流センター
対象 小学生(60名まで)
参加費 500円

9月

多文化共生事業「ブラジル・ウィーク in 山梨」

2008年、ブラジルへの日本移民100周年を迎えます。それに先駆けて、移民に関する映画上映、写真展示、講演会、ワークショップ、「食」と「音楽」等、盛りだくさんの内容で、日系ブラジル人たちの文化・歴史、アイデンティティをひも解いていきます。
※詳細はチラシをご覧ください。
とき 9月4日(火)～7日(金) 午後6時～8時/8、9日(土、日) 午前10時～午後4時30分
ところ 県立国際交流センター

「秋の外国文化講座」開講

「American Culture」「New Zealand Culture」「ドイツ語」「フランス語」「ポルトガル語」「スペイン語」「イタリア語」「ハンガリー」等の人気講座がいっぱいです!
※詳細はチラシをご覧ください。
期間 9月～2月
ところ 県立国際交流センター

日本語指導者研修講座(全5回)

日本語を教えているボランティアの皆さんを対象に研修講座を開催します。
とき 9月1日(土) 全5回の最終日
午後1時半～4時
ところ 県立国際交流センター
参加費 3,000円

Agosto

Dia Internacional da Amizade

Voltado aos estudantes do *shôgakkô*, o evento será uma oportunidade de conhecer diversas culturas através de jogos e pratos típicos da China, Coréia, Peru, Paraguai, Brasil, França, Estados Unidos dentre outros. Participem com os amigos!

Data: Sábado, 25 de agosto de 2007
Horário: Das 13h30 às 15h30.
Local: Yamanashi International Center.
Entrada: 500 ienes.

Setembro

Brazil week in Yamanashi

Venham aplaudir os diversos artistas amantes da música brasileira, bem como assistir as palestras diversas que contam a história dos laços nipo-brasileiros. A gastronomia brasileira reunirá os profissionais de toda Yamanashi, e às crianças brasileiras, uma oportunidade de aprenderem um pouco mais sobre as suas raízes (Vide detalhes e programação na página 5)

Data: De 4 a 9 de setembro de 2007.
Local: Yamanashi International Center em Kofu.

August

"International Friendship Day"

The Yamanashi International Association is inviting all Elementary School students to come and participate in our International Friendship Day!
You will be able to learn various cultures through games and songs. There will also be many opportunities to meet and talk with people from around the world and learn from them.

Time: Saturday, 25th of August. 13:30~15:30
Location: Yamanashi International Centre
Entrance Fee: 500 Yen
Limited to: 60 people

September

"Brazil Week in Yamanashi"

Next year is the Centenary of Japanese Emigration to Brazil and the Yamanashi International Association is inviting you to its preview. There will be short-film sessions, a photo exhibition, workshops and many other exciting activities during the whole week. Come along and "divirta-se". Please refer to page 7 for more details.

Time: 4th~7th of September. 6pm~8pm
8th~9th of September. 11am~4:30pm
Location: Yamanashi International Centre



編集後記

国際交流協会の語学講座で知り合ったHさんが、アメリカ人男性と結婚。この夏、アメリカコロラド州のロッキー山脈の麓でウェディング・パーティを開くことになりました。Hさんは、協会の奨学生プログラムで、アイオワ州コーネル大学へ。卒業後、シカゴ美術大学で修士を取得。がんばり屋の彼女も、異文化に戸惑い、悩んだ日々もあったとか。
協会のプログラムが、少しでも彼女の生き方にプラスになり、彩りを添えられたのならうれしい限り。
この夏、Hさんとうれしい再会です。ロッキー山脈の大自然の中、純白のドレスに包まれた彼女は、とびつきりまぶしいだろうなあ。
雨宮

Caros Leitores,
Foi impressionante e gratificante ver a animação e a alegria de todos que estiveram presentes no grande arraial de Yamanashi em que todos puderam sáciar um pouco as saudades do Brasil. Aproveitando as festividades brasileiras, reservamos a semana da pátria para a realização do *Brazil Week in Yamanashi* que será uma oportunidade aos japoneses conhecerem mais sobre a história e a cultura brasileira e estreitarmos mais os laços nipo-brasileiros em Yamanashi. Aguardo a presença de todos vocês! Um forte abraço!
Érica

Oi tudo bem? Eu gosto de uva! It's been a year since I've arrived in Yamanashi and my expectation before I came was to improve my Japanese skill. However, thanks to my crazy Brazilian co-worker, I've started my first ever Portuguese lessons. People here are different but kind. I can still remember that one of my colleague gave me a box of peaches to show her warm welcome to me. I was so happy and also comforted by her kindness. I want to thank her for giving me a great start of my year in Japan. Plus to my Brazilian co-worker for all the help and food, oops I meant to say fun she brought to me during the year. She showed me a whole new aspect towards being a CIR and I thank her for it.
~Yi-Mei

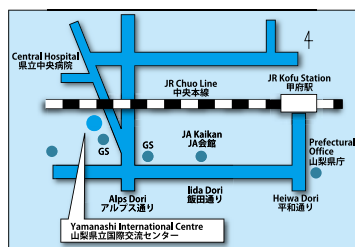
Yamanashi 2007年 8月・9月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 雨宮由里恵 田中エリカ イーメイ・リー
- Published by Yamanashi International Association
- Edited by Yurie Amemiya Érica Tanaka Yi-Mei Lee

The International centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL www.yia.or.jp

MAIL webmaster@yia.or.jp



〒400-0035 甲府市飯田2-2-3
tel 055-228-5419 fax 055-228-5473
2-2-3 Iida, Kofu-Shi, Yamanashi-ken,
Japan 400-0035